

2019年3月期第1四半期

決算説明資料

名古屋鉄道株式会社

2018年8月6日



連結損益計算書

()は増減率

(単位：百万円、%)

	当第1四半期	前第1四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	143,091	142,835	255 (0.2)	運送 +1,501 流通 +846 航空関連サービス +310 交通 +133 不動産 2,093 レジャーサービス 564 その他 16
営業費用	131,934	131,299	634	燃料費 +454
営業利益	11,157	11,535	△ 378 (△3.3)	不動産 489 その他 299 流通 208 航空関連サービス 55 交通 +338 運送 +325 レジャーサービス +34
経常利益	12,094	12,516	△ 421 (△3.4)	営業外収益 123 営業外費用 80
特別利益	246	271	△ 25	固定資産売却益 23
特別損失	734	280	454	整理損失引当金繰入額 +560
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,587	8,262	△ 674 (△8.2)	

営業収益 : 不動産事業は分譲マンション販売引渡戸数の減少により減収となったものの、運送事業におけるトラック運賃単価の上昇や、流通事業における増収などにより、全体では増収。

営業利益 : 不動産事業の減収に加え、燃料費の増加などにより減益。

経常利益 : 営業減益に加え、持分法投資利益の減少により減益。

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 経常減益に加え、整理損失引当金繰入額の増加により減益。

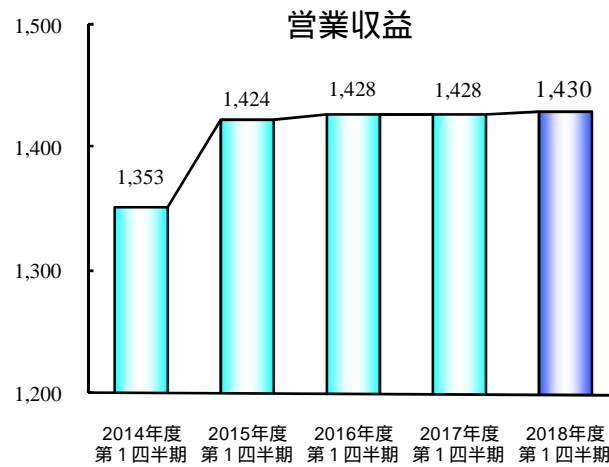
連結子会社数 : 117社 (増加なし)
(減少 2社) 北陸名鉄急配 (被合併)、名鉄協商パーキング (被合併)

持分法適用会社数 : 16社 (増減なし)

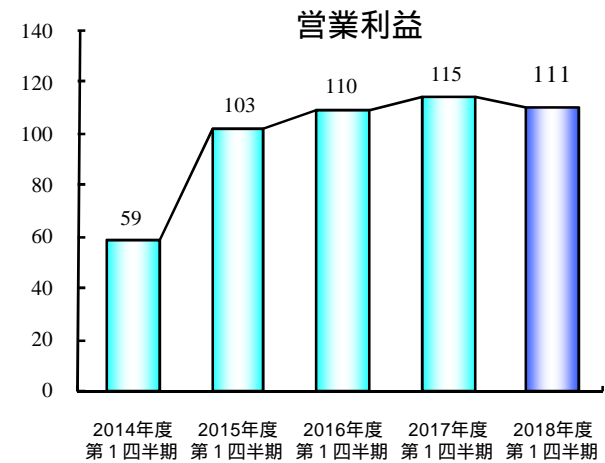


連結業績の推移

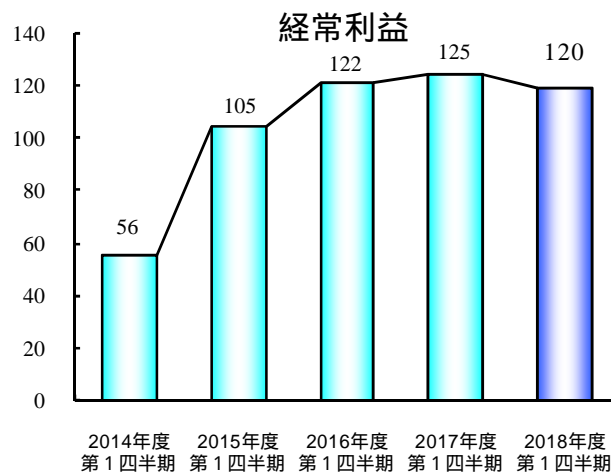
(単位:億円)



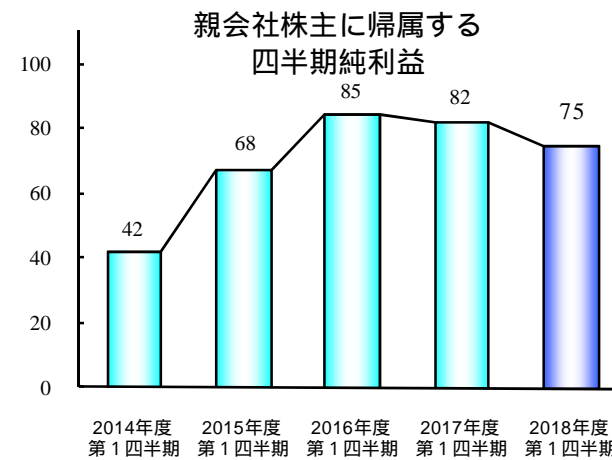
2期ぶり増収



4期ぶり減益



4期ぶり減益



2期連続減益



セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	42,177	42,043	133	0.3	鉄軌道事業における輸送人員の増加により増収
運送事業	33,803	32,301	1,501	4.6	トラック事業における運賃単価の上昇や、貨物取扱量の増加を主因に増収
不動産事業	18,777	20,870	△ 2,093	△ 10.0	賃貸事業において駐車場数の増加や新規賃貸物件の収益寄与があったものの、分譲マンションの販売引渡戸数の減少により減収
レジャー・サービス事業	12,433	12,997	△ 564	△ 4.3	名鉄インの新規出店などによりホテル業では増収となったものの、観光施設事業における子会社譲渡に伴う減収などにより全体では減収
流通事業	32,565	31,719	846	2.7	百貨店業では減収となったものの、石油販売価格の上昇もあり、全体では増収
航空関連サービス事業	5,197	4,886	310	6.4	航空整備事業やケータリング事業での受注増加などにより増収
その他の事業	8,941	8,957	△ 16	△ 0.2	設備工事の受注減少などにより、僅かに減収
調整額	△ 10,803	△ 10,940	137	—	
合計	143,091	142,835	255	0.2	

営業利益	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	7,516	7,177	338	4.7	燃料費は増加したものの、鉄軌道事業における増収と人件費の減少により増益
運送事業	1,722	1,396	325	23.3	燃料費や人件費が増加したものの、増収により増益
不動産事業	2,060	2,549	△ 489	△ 19.2	減収による減益
レジャー・サービス事業	26	△ 8	34	—	ホテル業での増収や観光施設事業における収支改善により僅かながら黒字化
流通事業	143	352	△ 208	△ 59.3	駅店舗事業や輸入車販売業における利益率の悪化などにより減益
航空関連サービス事業	△ 56	△ 1	△ 55	—	航空整備事業における収支悪化
その他の事業	△ 404	△ 104	△ 299	—	設備工事の収支悪化、新規事業拡大に伴う費用の増加などにより収支悪化
調整額	149	174	△ 24	—	
合計	11,157	11,535	△ 378	△ 3.3	



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期	前期末	増減額	コメント
流動資産	178,123	178,036	87	
固定資産	942,812	942,585	226	
有形固定資産	790,012	789,302	709	建設仮勘定の増加
無形固定資産	8,402	8,804	△ 402	
投資その他の資産	144,398	144,478	△ 80	
資産合計	1,120,936	1,120,622	313	
流動負債	249,564	259,686	△ 10,121	支払手形及び買掛金の減少
固定負債	476,752	471,380	5,372	社債の増加
負債合計	726,317	731,066	△ 4,749	
純資産合計	394,618	389,555	5,062	株主資本 +4,752 親会社株主に帰属する四半期純利益 +7,587 剰余金の配当 5,237
負債純資産合計	1,120,936	1,120,622	313	
連結有利子負債合計	452,844	445,568	7,275	〔参考〕純有利子負債残高 421,051 (前期末比 +7,072)



個別運輸成績

輸送人員

(単位：千人、%)

輸送人員	当第1四半期	前第1四半期	増減率
定期外	31,342	30,979	1.2
定期	69,538	68,147	2.0
計	100,880	99,126	1.8

旅客収入

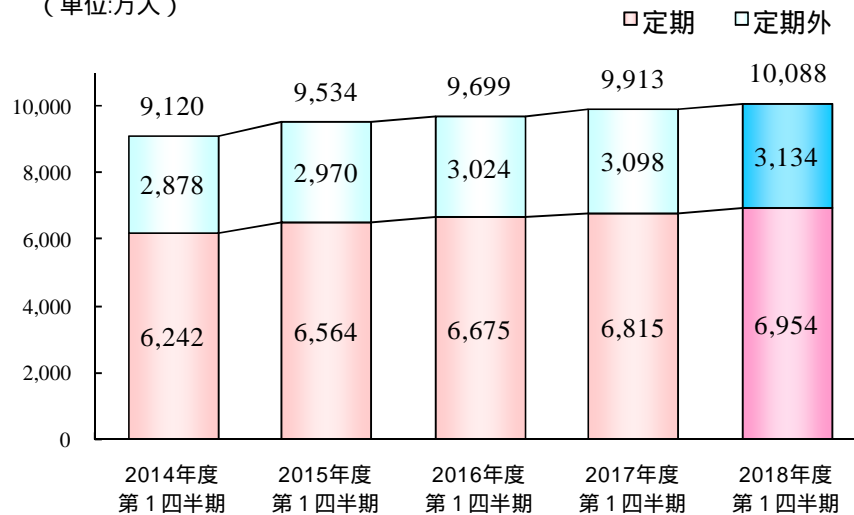
(単位：百万円、%)

旅客収入	当第1四半期	前第1四半期	増減率
定期外	12,304	12,124	1.5
定期	10,171	9,983	1.9
計	22,476	22,108	1.7

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

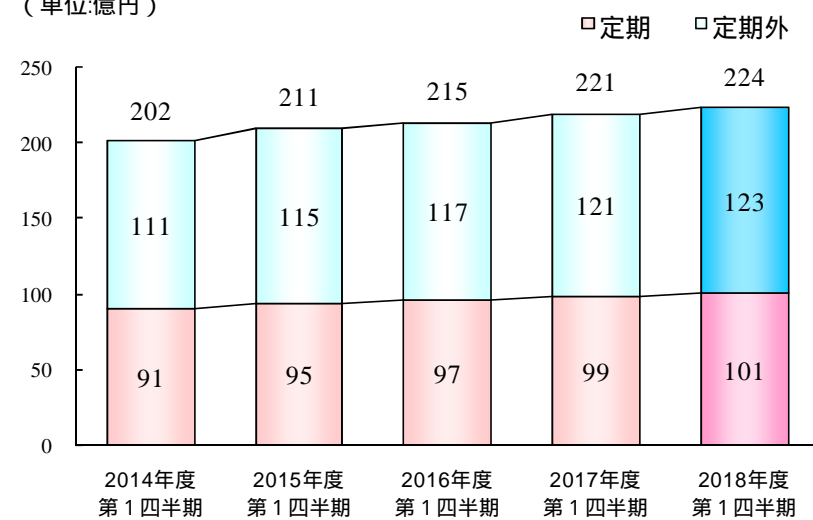
輸送人員の推移

(単位：万人)



旅客収入の推移

(単位：億円)



2019年3月期 連結業績予想

() は増減率

(単位：百万円、%)

	2018年度 予想	2017年度 実績	増減	(対前期)	中期経営計画に おける2020年度 目標
営業収益	609,000	604,804	4,196 (0.7)	運送 +1,709 不動産 +1,642 交通 +1,255 その他 +1,165 航空関連サービス +355 流通 +347 レジャー・サービス +266	—
営業利益	45,500	46,976	△ 1,476 (△3.1)	不動産 1,902 航空関連サービス 353 その他 285 レジャー・サービス +391 交通 +358 流通 +234 運送 +10	50,000
経常利益	46,000	48,566	△ 2,566 (△5.3)	営業外収益 1,292 営業外費用 201	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,000	28,691	△ 1,691 (△5.9)	特別利益 956 特別損失 1,606	—
E B I T D A	85,500	85,882	△ 382 (△0.4)	EBITDA：営業利益 + 減価償却費	93,000
設備投資額	69,800	52,236	17,564 (33.6)		—
減価償却費	40,000	38,906	1,094 (2.8)		—
純有利子負債	418,000	413,978	4,022 (1.0)	純有利子負債：有利子負債 - 現預金・短期有価証券	—

通期の連結・個別業績予想ともに前回公表値（2018年5月9日）を据え置き。





業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。

